

2026年5月

## 【1分解説】プライベート・アセットの民主化とは？

政策調査部 主任研究員 鄭 美沙

プライベート・アセットの民主化とは、これまで機関投資家や超富裕層に限られていたプライベート・アセット（未公開資産）への投資機会が、より幅広い個人投資家に広がる動きを指します。プライベート・アセットとは、証券取引所に上場していない資産であり、代表的なものは、プライベート・エクイティやプライベート・デット、不動産、インフラなどがあります。民主化の動きは欧米で先行しており、日本でも関心が高まりつつあります。

プライベート・アセットへの投資は、一般的に最低投資金額が大きく、流動性が低いうえ、投資期間も長期に及びます。また、情報開示も限定的であり、個人投資家にとっては投資へのハードルが高いものでした。しかし近年、デジタル化を背景に、ファンドの小口化やデータの可視化、投資情報へのアクセス改善などが進み、個人投資家が参加しやすい環境が整備され始めています。

プライベート・アセットは、相対的に高いリターンを目指すうえ、株式や債券など伝統的資産とは異なるリスク・リターン特性を持つため、分散投資の効果も期待されています。一方で、流動性の低さなど従来からの課題が完全に解消されたわけではなく、投資にあたっては、商品への十分な理解と慎重な投資判断など、高い金融リテラシーが求められます。

### 関連レポート

・「米国、確定拠出年金でオルタナティブ投資を推進～「セーフハーバー」整備で訴訟リスクを低減～」(2026年4月)<https://www.dlri.co.jp/report/macro/597986.html>